

議員出前講座in大分舞鶴高等学校



開催日：令和5年11月8日（水）
場所：大分県立大分舞鶴高等学校
（加藤 寛章 校長）
受講者：2～3年生19人
派遣議員：穴見 憲昭 議員
猿渡 久子 議員

▲ 猿渡 久子 議員 ▲ 穴見 憲昭 議員

今回は、大分県立大分舞鶴高等学校2～3年生の希望者19人を対象に講座を開催しました。講師を務めた穴見議員と猿渡議員は、県議会の役割と機能、議会の取組内容などについて説明しました。



地域活性化や環境問題、少子高齢化対策や高校生団体への活動支援など、生徒から寄せられた多岐にわたる質問に対して、議員が回答しました。



学 生 感 想



- 私は将来、福祉関係の職に就きたいと考えているので、高齢者に関する問題や大分県が取り組んでいる対策を知ることができて、より大分県の福祉について考えるきっかけになりました。
- 地方政治の重要性を再確認することができ、私たちの声が地元社会においてどれほど大切なものであるかを教えて頂きました。
- 二人の議員さんの話をきいて、「議員は私たち県民とかけ離れた存在で、私たちの意見を反映してもらうことは難しい」という考えが一変しました。
- 今、私は十七歳で来年は選挙権を持つ年齢になるにも関わらず、政治について知識が足りていなかったことに焦りを感じたので、これからも勉強して政治に参加したいなと思いました。
- 民主主義の制度を保っていくためにも、議会で行われていることをもっと知り、選挙権を手に入れたら投票に必ず行こうと思いました。